

# 塗装の手入れ

CORONA *MARK II 1900* HARDTOP *GSS*

コロナの外観をいつまでも美しく保つために、塗装の手入れは非常に大切なものです。定期的な手入れをすることにより、塗装面の美しい光沢を維持することができますので、正しい塗装の手入れ法をよく理解してください。



## ■洗車

洗車は適宜つぎのように行ないます。

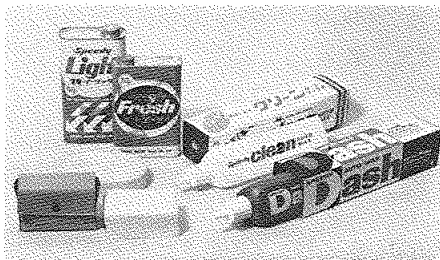
1. ボデーの下まわりに水圧を上げた水を吹き付け、付着している泥を落とします。

特にフロント・フェンダーおよびリヤ・フェンダーの内側などは、入念に洗います。

2. ボデーには、十分水をかけながら、スポンジまたはセーム皮などで軽く塗装表面をなでるようにして、汚れを洗いながします。



3. 水洗いで落ちにくい汚れは、トヨタ・カー・シャンプーを使用するときれいに落ちます。



に落ちます。

4. ボデーに残っている水分は、スポンジまたはセーム皮でよくふきとります。水滴がついたままにしておきますと、塗装にはん点状のしみがついてしまうことがありますので、ご注意ください。

5. タイヤも念入りに洗いましょう。トヨタ・カー・シャンプー、または中性洗剤を用いてブラシなどで洗います。タイヤがきれいだと車も一段と美しさが引き立ちます。

#### 〈注意〉

1. 塗装面に異物（ばい煙、ピッチ、タ

ール、虫、または鳥のふんなど）が付いたままにしておくと、塗装面が化学変化しやすく、はん点、変色の原因になりますので、すみやかに洗車してください。

2. 海岸地方などを走行し海水が付いたとき、または道路凍結防止剤などが散布してあるところを走行する場合は、すみやかに洗車を行ってください。

#### ■ワックスがけ

ワックスがけは、月に一度、または水のはじきかたが悪くなったときに行なってください。

塗装の表面にワックス分がなくなると、美しい光沢を失ない、塗装の老化を早めます。このため定期的に良質のワックスを塗布して塗装の保護をしてください。ワックスがけは、次のように行なってください。

1. 前ページの洗車の項を参照して、洗車してください。
2. ワックスがけをします。

トヨタ・オート・ワックス、またはトヨ

タ・スピーディ・ダッシュのご使用をおすすめします。

トヨタ・オート・ワックスの使用法  
ワックスを柔らかいスポンジか布で、表面の光沢が少しにごる程度にまんべんなく塗布し、ワックスが乾いたところで、別の柔らかい布かハンド・モップでみがきあげます。



トヨタ・スピーディ・ダッシュの使用方  
法

少しずつ塗布しながら、別の柔らかい布  
かハンド・モップでみがきあげます。

#### 《注意》

1. 塗装面が熱いときは、車を日陰に移し、体温以下になってから、ワックスをかけを行なってください。
2. トヨタ・スピーディ・ダッシュは早く仕上げることはできますが、トヨタ・オート・ワックスにくらべて、ワックス分が早くなります。
3. 落ちにくい水垢、ピッチ、タールなどが付着しているときは、トヨタ・オート・ワックス・クリーナーをご使用ください。
4. 軽いほこりなどは、毛ばたき、またはモッパーですり傷を付けないように、軽く取りさってください。
5. ほこりが取りにくいときには、帯電防止剤入りのワックスを、ご使用ください。

# 常時携行品とアクセサリ

CORONA *MARK II 1900* HARDTOP GSS

#### ■常時携行品のご紹介

お車をご使用になるときは、万一の故障に備え次のものを常時携行なさるようお勧めいたします。ご購入の時は、コロナ MARK II 1900 ハードトップ GSS 取扱店の部品部に用意しておりますので、お気軽にご相談ください。

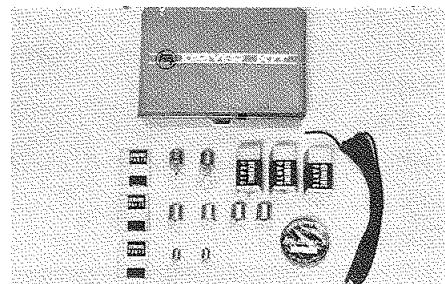
#### 《注意》

車両に電気を使用するアクセサリを追加、あるいは車両の配線（ワイヤー・ハーネス）を修理される場合はつぎのことからご注意ください。

1. 既設の配線（ワイヤー・ハーネス）に容量以上の負担がかかっていないか。
2. ヒューズを通していないか。
3. 接続は安全か。
4. 裸線の接続部分は必ずハンダ付けをし、絶縁テープで充分被うこと。

5. 配線が車体と触れあう場合は電線の保護を充分行い、振動でたるみやショートが起きないようにしておくこと。

#### □オーナー・ドライバー・キット



電球、ヒューズ等の消耗品または応急用品が専用ケースに納めてあります。

#### 構成部品

フロント・ターン・シグナル・ランプおよびテール・アンド・ストップ・ランプ  
・バルブ

23/8W 2個  
無断複製禁止